

2019 年度事業計画

自 2019 年 7 月 1 日 至 2020 年 6 月 30 日

- 【真宗保育理念】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」
【総合テーマ】 「ともに生き ともに育ちあう保育を実践しよう」
【基本認識】

2018 年度には、保育現場における『真宗保育カリキュラム』の普及・活用を目指した新規事業「カリキュラム研修会」「設置者・園長等研修会」がスタートした。各研修会は、真宗保育の「大切なことを見つけ続け、考え続け、実践し続ける」(『真宗保育カリキュラム vol. 3』P13) 歩みの大切さを再確認する機会となった。

社会状況としても、乳幼児教育・保育への関心が高まり、「教育改革」「保育者の資質向上」の具体的施策が始まりつつあるなかで、私たち真宗保育の保育者にとっての「教育改革」「資質の向上」はいかにあるべきかを意識しながら、2019 年度は以下の重点施策に取り組みたい。

また、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けた準備が本格化している宗派の状況にあって、協会としても“真宗同朋会運動における青少年教化を担当する役割”を果たすべく、関連事業の検討を始める。

【重点施策】

(1) 『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

① 『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

2018 年度より、カリキュラムは各種研修や、各園での使用例が増えている。もちろん、まだ課題は山積であるが今年度も継続していけるような組織作りが必要である。また、真宗保育研究会への参加など、外部の有識者とも交流する場所をもち、真宗保育、またカリキュラムの内容について対話していく。

② 普及・活用のための人材養成、実践体験の還元

『真宗保育カリキュラム』は普及が目的ではない。真宗保育のより一層の深化にこそ、その目的はあることを再確認せねばならない。そのためには『真宗保育カリキュラム』の普及や学びを通じ、真宗保育について「語れる人」の誕生が課題である。2018 年度新規事業の「カリキュラム研修会」「設置者・園長等研修会」などをはじめとした諸研修がその基軸になるだろう。また、『真宗保育カリキュラム』の誕生・普及は他の保育・教育関係者との対話を可能とする共通項にもなるだろう。その意味で『真宗保育カリキュラム』の普及は、真宗保育が広く公開されていくことにもつながるのである。

『真宗保育カリキュラム』や真宗保育の普及・公開にはその保育経験の共有化が不可欠である。そのためにもカリキュラム使用の実践体験を研修・広報などを通じ保育・教育関係者に還元する場が重要性を増すことも指摘されるべきである。

(2) 研修テーマ「そだつ」サブテーマ「一人ひとりの『そだつ』にであう」の総括作業を受けた新テーマの発表

① 第18回全国真宗保育研修大会（金沢会場）の開催

期 間：2019年7月6日（土）～7日（日）

会 場：（1日目）ホテル金沢、（2日目）石川県立音楽堂

講 師：基調講演 木越 康氏（大谷大学学長）

記念講演 鈴木 みゆき氏（国立青少年教育振興機構 理事長）

西東 桂子氏（幼児教育ジャーナリスト/編集者）

分科会：北陸連区、協会研修部担当による5分科会の実施

② 次期研修テーマの検討に向けた取り組み

第18回全国真宗保育研修大会（金沢会場）の開催にあわせて、新研修テーマを発表し、加盟園間の共通認識を図る。前研修テーマ「そだつ」サブテーマ「一人ひとりの『そだつ』にであう」の総括作業を受け、2019年度の諸研修の内容につなげていく。並行して『真宗保育カリキュラム』の活用についても検討していく。

③ 第3期こどものうた普及に向けた取り組み

第3期こどものうた「ぼくたちこども」【作詞作曲：中川ひろたか氏、うた：陽香（はるか）氏】が日常的に歌い継がれるよう、加盟園、宗派内を中心にひろく 周知を図る。

今後は、2023年の宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年に向けて、さらに親しみのある事業となるよう、次期以降の制作に向けて体制を整える。

(3) 保育心理士会による保育心理士の活動支援の充実

① 保育心理士養成校の拡充

真宗大谷派学校連合会の幹事校である大谷大学をはじめ、宗派関係学校との連携を密にし、さらに保育心理分野について、情報共有や学術的な取り組みが深まるよう関係構築、土壌整備に取り組む。【(1種)同朋大学大学院、(2種)九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、飯田女子短期大学、東亜大学、九州産業大学、大谷大学、仁愛女子短期大学】

あわせて、保育心理士会業務の負担軽減への対応も検討を続ける。

② 保育心理士資格取得講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系の構築の動きに際して、真宗保育の理念を基として、積極的に当資格の人員育成を推進するために、京都をはじめとし同講座を開催している都道府県での認定手続きを進め、全国的広がりを模索する。

【認定都道府県：福岡県、岐阜県、兵庫県・熊本県・鹿児島県・愛知県・京都府】

(4) 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けた事業構築のためのプロジェクトの始動

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けた準備が本格化している宗派の状況にあって、協会としても“真宗同朋会運動における青少年教化を担当する役割”を果たすべく、新たにプロジェクトを立ち上げて取り組みを検討する。

今回の法要時期が各園の年度替わりと重なる状況から、記念事業の持ち方を検討する他、プロジェクトの過程においては宗派諸機関(青少年教化センター等)との連携をもって関連事業を構築していく。

(5) 協会組織の機構充実、人材発掘

(4)の宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けた取り組みにおいては、特に、事業にかかわっていただく、さまざまな人材の参画を要請し、協会組織の機構充実をめざす。

I 幼児教育、保育内容充実向上事業（公益目的事業）

I-1 調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。真宗保育の理念、実践方法などについて研究を引き続き行う。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性・公開性をはかる。

(1) 基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者ととともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、保育、教育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催する。
- ② 真宗大谷派学校連合会の幹事校（大谷大学・光華女子大学・同朋大学／保育者養成校）の教員を交えて、『真宗保育カリキュラム Vol. 1～3』の学術的表現への展開を図る。
- ③ 真宗大谷派学校連合会大学部会による「真宗保育研究会」に当協会の担当者及び研究所員が参加し、研究会の運営と内容の探求に努める。
期 日：2020年1月21日（火）
会 場：真宗大谷派宗務所
- ④ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を協会各部門と連携しながら考察していく。例えば、教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの推進を図る。
- ⑤ 研修テーマである「そだつ～一人ひとりの『そだつ』にであう～」について、仏教・真宗的視点からどのように内容を付与できるかを考察する。具体的には経典、聖教などの言葉を用いながら学術的にアプローチし、協会全体に何らかの形で公表できるようつとめる。

(2) 臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施する。その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催する。

・第12回保育心理研究会

期 日：2020年1月12日（日） / 会 場：大谷大学

講 師：未 定

- ② 保育相談及び育成指導

研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行う。

I-2 教材・書籍・研究誌頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努める。また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催する。応募作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行し、市民に子どもたちの姿を伝える。

また、保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布し、子育てに関する情報提供を行う。

(1) 保育教材の頒布

① 各教材の頒布

既存教材については前年度程度の頒布を行う。

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
合掌人形 しんらんさま	550 円	320 円	-	200
うでわ念珠 青 子ども用	150 円	124 円	2000	3000
うでわ念珠 青 大人用	150 円	134 円	1000	1000
うでわ念珠 ピンク 子ども用	150 円	124 円	1000	1500
うでわ念珠 ピンク 大人用	150 円	134 円	1000	1000
白念珠	120 円	105 円	-	800
念珠袋	280 円	235 円	-	800
おつとめちょう	100 円	40 円	-	500
真宗保育者手帳	500 円	480 円	-	10
真宗保育のカリキュラム入門	530 円	240 円	-	30
八女ちょうちん	180 円	107 円	500	500
しんしゅうこどもかれんだー	270 円	238 円	6000	5500
真宗保育の源流をたずねて	200 円	186 円	-	10
真宗保育カリキュラム vol. 1	1,500 円	1,827 円	-	100
真宗保育カリキュラム vol. 2	1,000 円	859 円	-	100
真宗保育カリキュラム vol. 3	1,000 円	575 円	-	100
こどものうた①「誕生」CD	500 円	388 円	-	10
こどものうた②「そだつ」CD	500 円	337 円	-	0
こどものうた③ ぼくたちこども WEB 版	200 円			
こどものうた③ ぼくたちこども (カラオケ) WEB 版	200 円			

〈真宗保育ブックレットシリーズ〉

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
2. アイヌ民族文化と子育て	280 円	200 円	-	10
3. 本当に大切なこと (一楽真)	280 円	105 円	-	0
4. なぜ浄土なのだろうか (中川皓三郎)	240 円	115 円	-	10
5. いのちの教育のすすめ (田代俊孝)	240 円	145 円	-	10
6. 真宗保育の名で育てたい子ども・人間 (加藤守孝)	220 円	134 円	-	10

7. あそび (宮城颯)	220 円	127 円	-	50
8. 敬うとは何か (加藤祐伸)	240 円	138 円	-	10
9. 宗祖としての親鸞聖人に会う (池田勇諦)	110 円	50 円	-	10
10. 真宗と保育 (一楽真)	280 円	105 円	-	100
11. いのちありがとう (真城義麿)	240 円	151 円	-	10
12. 誕生 (三明智彰)	220 円	110 円	-	30
13. 真宗保育をデザインする (富岡量秀)	250 円	160 円	-	50
14. 唯我独尊の教え-誕生の意味-(吉元信暁)	240 円	175 円	-	50
15. 「する」から「ある」へ —養育論の試み— (芹沢俊介)	350 円	125 円	-	500
16. 真宗保育をデザインするⅡ —カリキュラム・マネジメントの視座— (富岡量秀)	300 円	165 円	-	500
17. サガエさんの「講義ノート」-真宗保育編- (佐賀枝夏文)	250 円	—	1500	500

(2) 新教材の発行

① 園児絵画展に応募された作品で「しんしゅうこどもかれんだー」を作成する。

② 新たな保育教材を発行する。

【2019 年度発刊予定】

・真宗保育ブックレット17 サガエさんの「講義ノート」-真宗保育編-
佐賀枝夏文氏 執筆 (大谷大学名誉教授・高倉幼稚園前園長)

③ 教材パンフレット発行

④ 月刊誌「真宗保育」のデザイン一新

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）

Ⅱ-1 研修事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に望めるよう研修内容をより深めていく。

また、第18回全国真宗保育研修大会（金沢）で新しい研修テーマを発表し、各支部での研修に向けて事例等を提示できるように協議・検討を行う。

「そだつ 一人ひとりの『そだつ』にであう」からさらに展開できるようなテーマを提示し、研修を通して学び、保育現場で実践が確かなものになるよう研鑽に努める。

(1) 研究会・研修会事業

① 第18回全国真宗保育研修大会

期 間：2019年7月6日（土）～7日（日）

会 場：ホテル金沢・石川県音楽堂

基調公演：木越 康氏（大谷大学学長）

記念公演：鈴木みゆき氏（国立青少年振興機構 理事長）

西東 桂子氏（幼児教育ジャーナリスト/編集者）

分科会：保育現場のチームビルディングを考える

保育現場におけるこどもの「安全」を考える

幼少期の自然体験学習と健全な「そだち」を考える

幼児の造形活動を通して非認知能力の「そだち」を考える

危機管理と園内マネジメント（設置者・施設長向け）（協会本部）

② 第63回仏教保育大学講座 事前学習会

期 日：2019年7月10日（水）

会 場：三木半旅館

対 象：仏教保育大学講座 指導員・生活指導員

③ 第63回仏教保育大学講座（真宗十派共催・浄土真宗本願寺派当番）

誰しもが数年の保育経験によって、自分の保育に対して限界を感じたり、さまざまな悩みを持つ。それらの事柄に向かいあえるよう親鸞聖人の教えに耳を傾け、自らの保育経験を省みる機会とする。

日程においては、少人数のグループ討議をするなかで、保育者自身の自己発見をすることにより保育観や保育姿勢を確認し深めあう。

対 象：2年目以上の保育者

期 間：2019年8月1日（木）～4日（日）

会 場：龍谷大学（大宮キャンパス）・三木半旅館

講 師：鍋島 直樹氏（龍谷大学文学部教授）

松井 乃里子氏（学校法人今小路学園くるみ幼稚園）

讃歌指導：萬田一樹（大阪教育大学講師/相愛大学講師）

募集人数：140名

・仏教保育大学講座委員会を年2回開催予定

④ 新任研修会

各園の新任職員が園に従事してもつ戸惑いや疑問を通して、保育の新たな視点を学ぶ。また、仏教行事をとおして子どもたちに伝えたいことを知る。

対 象：1年目の保育者

期 間：2019年10月25日(金)～27日(金)

会 場：しんらん交流館・大谷大学湖西キャンパスセミナーハウス

テ ー マ：まなぶ

講 師：富岡量秀氏(大谷大学教授)・朝倉益光氏(大谷保育協会理事長・東野こども園園長)・高木淳善氏(草津大谷保育園園長)

募集人数：20名

⑤ 主任・中堅保育者研修会(奉仕団)

保育を実践していくうえで、現場保育者の中心的存在となる主任・中堅保育者の位置づけは非常に重要である。真宗本廟を会場とし、親鸞聖人の開かれた真宗の教えを聞き、真宗保育の視座を確認し実践にいかしていく。

対 象：主任・中堅保育者(保育経験5年以上)

期 間：2020年6月頃

会 場：真宗本廟境内及び同朋会館(予定)

講 師：未定

テ ー マ：まなぶ

募集人数：20名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催(3ポイント付与)

⑥ カリキュラム研修会

『真宗保育カリキュラム』の普及・活用のため、日々の保育現場で保育者が『カリキュラム』をテキストとして、どのように活用すべきか研修・協議することを目的として開催する。

対 象：保育者

期 間：2020年5月16日(土)

会 場：山陽教務所(山陽支部との共催)

テ ー マ：まなぶ

講 師：未定

募集人数：30名(予定)

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催(3ポイント付与)

⑦ 設置者・園長等研修会

『真宗保育カリキュラム』の普及・活用のため、各加盟園の設置者や園長自身が『カリキュラム』の内容を伝達し「語れる人」となるように育成することを目的として開催する。

対 象：理事・園長・設置者・後継者

期 間：2020年1月30日(木)～31日(金)

テ ー マ：まなぶ

講 師：富岡量秀氏(大谷大学教授)・玉田玉秀齋氏(講談師)

会 場：難波別院内同朋会館講堂(大阪支部との共催)

※全国大会との隔年開催の予定

募集人数：40名(予定)

⑧ 協会主催研修のシラバスの整備

協会主催の研修(新任研修会、仏教保育大学講座、主任・中堅保育者研修会、保育心理士、カリキュラム研修会)のシラバスの作成を進め、保育者の経験年数に応じた研修の内容を充実させる。

⑨ 協会主催研修の「キャリアアップ研修」の認定取得

昨年度から各都道府県ですすめられている「保育士等キャリアアップ研修」認定に関し、協会主催研修のシラバスを活用し認定取得をめざす。また、先行して、将来、受講証明が可能となるよう、各研修の参加者に受講証を発行する。

II-2 資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を行う。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6%ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園児全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めている。

国や地方自治体とも連携を取りながら、保育心理士資格を拡充し、保育心理士空白県の早期解消を目指す。

また、2013年度から2種資格に有効期限を設けたことに伴い、引き続き1種資格への誘導を促進する。あわせて年会費徴収の向上を目指す。

保育心理士資格取得講座においては、2017年度より開始した保育士等キャリアアップ研修の認定取得に継続して取り組む。

(1) 保育心理士資格取得講座

【本部主催分】

- ① 京都会場【会場：真宗教化センターしんらん交流館・真宗大谷派宗務所】
《第1～2・修了式日程》 2019年8月21日（水）～25日（日）
《フォローアップ講座》 2019年8月25日（日）
- ② 九州会場【会場：九州大谷短期大学】
《第1・2日程》 2019年7月27日（土）～28日（日）
《第3日程》 2019年10月5日（土）
《第4・修了式日程》 2019年12月21日（土）～22日（日）
《フォローアップ講座》 2019年10月6日（日）
- ③ 東京会場【親鸞仏教センター】
《第3・4日程》 2019年9月28日（土）～29日（日）
《修了式日程》 2019年11月23日（土）※フォローアップ講座同時開催
《第1・2日程》 未定
- ④ 名古屋会場【同朋大学】
《第1日程》 2019年7月13日（土）《第2日程》 2019年9月21日（土）
《第3日程》 2019年10月26日（土）《第4日程》 2019年11月9日（土）
《修了式日程》 2019年12月7日（土）

(2) 保育心理士フォローアップ講座

5年の期限がある保育心理士資格の更新のためにフォローアップ講座を開催する。講座開催地域を広げるため、連区、支部とも共催して行う。

(3) 連区、支部研修会での資格取得講座の開催

保育心理士資格取得講座の全国展開のため、連区、支部より申請があった場合には、共催としたり、資格取得講座として認定するなどの方法で開催を促進する。

(4)「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募る。

保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000 円		
二種会員	3,000 円		
賛助会員（個人）	3,000 円	加盟園の設置者	保育心理概論の講義受講で入会可
賛助会員 （法人・大谷保育協会加盟園）	なし		申請で入会可
賛助会員 （法人・大谷保育協会非加盟園）	3,000 円		申請で入会可

(5)その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士認定委員会】

保育心理士認定申請がある度に開催、期日・会場 未定

【保育心理士会集会】第 12 回保育心理研究会と併催

期日：2020 年 1 月 12 日（日）

会場：大谷大学

【保育心理士講師集会】

必要に応じて開催

【保育心理士会幹事会】

年に 3 回程度開催、期日・会場 未定

【エリアマネージャー会議】

期日：2020 年 1 月 11 日（土）

会場：真宗大谷派宗務所（予定）

※第 12 回保育心理研究会前日に開催

② 保育心理士（1 種・2 種）養成校との協議会

必要に応じて開催

Ⅲ 啓発・広報事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を荷う。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供する。

(1) 機関誌等の配布

① 月刊誌「真宗保育」第 443～454 号を頒布する。

「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとする。

② 機関誌「ほいくしんり」（協会編、エイデル研究所発行）を頒布する。

(2) 協会ウェブサイト ホームページの運営

協会ウェブサイトのシステム不具合により、専門業者を交えての暫定的な変更を行った。システムの変更に併せて、スマートフォン対応を可能とした。今後、ウェブサイトにある各コンテンツの見直し、刷新を行いながら、情報発信を続けていく。

また、リアルタイムで情報更新を行い、各支部や加盟園の活動報告を掲載するなど協会全体で情報を共有できるようにシステムを構築する。

（ホームページ更新日）2019 年 4 月 1 日

(3) 園児絵画展

加盟園での情操教育の基礎となっている真宗保育に触れていただくことを願いとして、園児の絵画を公募し、すべての作品を御正忌報恩講期間にあわせて、京都駅公益地下ストリートギャラリーや真宗本廟（東本願寺）に展示する他、協会ホームページ上において作品を公開する。

期 間：2019 年 11 月 14 日（木）～11 月 28 日（木）

会 場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下、しんらん交流館、
および京都駅公益地下ストリートギャラリー

対 象：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児

(4) “こどものうた” 事業

研修テーマを題材として、日々の保育の中で子どもたちが口ずさみ、歌い継がれていくような願いのもと、2013 年度より 1 期 2 年間、5 期 10 年継続の計画として展開され、第 2 期までは一般公募により（各期 3 曲）制作事業を進めてきた。

第 3 期からは制作体系を見直し、作詞・作曲を一般公募から直接制作委託する形を採り、曲数も 1 曲とし、これまでの CD 制作からインターネット楽曲配信ストアを用いてその普及に努めた。しかしながら、楽曲配信後の利用者が極めて少ないことから、各園ではもとより、リニューアルされた協会ホームページや各種研修会等で活用いただけるよう、その周知に努めていきたい。

(5) 「子どもの森づくり運動」への参加

NPO 法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及への協力団体として希望園が参画し、自然保護、環境学習の意識高揚に努める。(現在、8ヶ園の加盟園が参加している)

IV 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

「子ども・子育て支援新制度」についての情報交換、施行にともなう協会加盟園の動向についての把握に努める。全国支部よりご参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を行う。

(1) 人材発掘のための取り組み

研修会等において協会の活動内容を周知し、協力を要請する。

(2) 加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努める。

(3) 各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努める。

(4) 「青少幼年センター」「しんらん交流館」事業との連携

宗派の青少幼年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努める。

(5) 会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月1回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載する。

(6) その他事業

① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園（各支部長経由）より報告を受け、感謝状を送る。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送る。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ伝達する。（各支部長経由）

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送る。

③ 各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送る。

V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し組織運営の安定と活動を支える。
公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）を適時公開する等、幼児教育・保育団体としての当協会の活動を広く世間に知らせていく。

(1) 管理業務の遂行

販売管理システムを活用した物品販売作業、在庫管理を行う。

(2) 協会 I C T 環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開し、社会的責任を果たす。また、協会の I C T インフラの維持運営、協会保有データの保全に関して、機密性を維持するとともに適時改善する。

(3) 採用情報提供システムの施行

保育士、保育教諭、幼稚園教諭等の人材確保に資するため、就職活動中の関係学校生対象に、大谷保育協会加盟園への採用情報を提供する仕組みを構築する。特に関係学校の大谷大学との連携を深めながら事業に取り組む。

(4) 協会を P R するパンフレット等の作成

幼児教育・保育団体としての当協会の活動を広く P R するため、パンフレット等の作成を行う。

(5) 加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し正確な加盟園情報の収集、管理を行う。定期的な加盟園名簿の改訂を行う。

(6) 常務理事会に関する事項

年に 3 回以上必要に応じて開催。

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会に関する事項

ア. 第 1 8 回（事業報告・決算承認）

期日：2019 年 8 月 27 日（火）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第 1 9 回（次年度予算・事業計画）

期日：会場：未定（2020 年 5 月を予定）

第 8 回総会

期日：2019 年 9 月 12 日（木）／会場：真宗大谷派宗務所

(8) 諸会議に関する事項

① 正副部所長会 年 1 回以上必要に応じて開催

年間活動計画の策定と活動状況の報告を行う。

② 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けた事業構築のためのプロジェクトの始動

③ 総務部会に関する事項 活動の状況に応じて随時開催